

人づくり・県民生活部
私学振興・青少年育成局私学振興課
教育庁教育振興部 高校教育課
担当(私学振興課): 大安(だいあん)
内線: 2883

スタンフォード
新たに「Stanford e-Fukuoka」プログラムを開始します

- 国際金融機能の誘致をはじめ、「世界から選ばれる福岡県」を実現するためには、異文化を理解し、多様なバックグラウンドの人々と通じ合える人材の育成が必要です。
- 英検準2級レベルを取得した高校生の割合が全国3位という本県の潜在的な英語対応力を評価され、この度、在福岡米国領事館の全面的支援を受け、「Stanford e-Fukuoka」プログラムを来年3月、新たに開講することとしました。
- このプログラムは、日本の高校生向けに米国スタンフォード大学が開発・運営する英語による異文化理解教育プログラムを本県仕様にしたものです。
- 「国際金融センターを目指す福岡に必要な条件」、「私が取り組む SDGs」、「シリコンバレーと起業家精神」など様々なテーマについて、世界トップクラスのスタンフォード大学のスタッフやゲストスピーカーによるディスカッションを中心とした講義で構成され、オンラインで受講できます。
- 県内の高校生に、よりハイレベルな学びの機会を提供することにより、福岡県の未来を担うグローバル人材を育成します。

1 「Stanford e-Fukuoka」(第1クール)の概要

対象	県内高校に在籍する高校1・2年生 30名 ※英検2級以上
講座内容	<p>(1) 英語による様々なテーマのオンライン講座を受講(令和4年3月～7月 全12回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ テーマ(予定) 国際金融センターを目指す福岡に必要な条件、私が取り組む SDGs、シリコンバレーと起業家精神、日米関係など ○ 講座の流れ 事前に配信される動画等を視聴 → 専任講師、ゲストスピーカーのレクチャー・ディスカッション(90分程度/回) → レポートの提出、オンライン掲示板での意見交換 ○ プレゼンテーション 講座の最後に、学んだテーマに関する調査内容を各自英語でプレゼン <p>(2) プレゼンテーション優秀者2名を米国スタンフォード大学修了式に派遣</p> <p>(3) 英語力アップのため、在福岡米国領事館主催の「TOEFL 特別講座」(全6回)も併せて受講</p>
受講方法など	<ul style="list-style-type: none"> ○ 在籍校を通じた公募への申込、選考を経て受講者を決定 ○ 原則土曜日の午前中に、インターネット環境のある自宅、学校等で講座のライブ配信を受信 ○ 受講後、スタンフォード大学から修了証書を交付 ○ 受講料無料(配信を受信するために必要な費用等は受講者が負担)

2 スケジュール(予定)

第1クール

- 令和3年11～12月 募集要項発表・受講生募集
- 令和4年1～2月 受講者選考・決定
- 令和4年3月 開講式・オリエンテーション、講座開始
- 令和4年7月 プレゼンテーション、講座修了
- 令和4年8月 優秀者選出、修了式参加

第2クール 令和5年3～8月

第3クール 令和6年3～8月



【参考】

米国スタンフォード大学概要

- 1891年開学、米国カリフォルニア州スタンフォードにある私立総合大学。
- 学部生約6,000人、大学院生約9,000人、留学生が約2割。
教職員数 約2,300人(ノーベル賞受賞者19人含む)。
- 「World University Rankings 2022」(Times Higher Education)での順位は、オックスフォード大学カリフォルニア工科大学、ハーバード大学に次ぐ4位、起業家(グーグル、ヤフー、ヒューレットパッカード等)を多数輩出